栄養クリニックの開設３年目を振りかえって

京都女子大学栄養クリニックは、平成20年７月１日に開所しましたので、早いもので３年目が終わろうとしています。

初年度の活動報告書に、大学の使命として教育・研究の重要性は言うまでもありませんが、地域への貢献・社会への還元も今後一層重要なものとなっていくので、栄養クリニックは、これらを３本の柱として進んでいきたいという意味のことを書かせてもらいました。発展途上の栄養クリニックですのでまだまだ完成からはほど遠いことはもちろんですが、それでもその当時と比べると、まことに石の上にも三年で、学内外で少しずつ認知されるようになってきたと思います。学外へのイベントへの参加を依頼されることも多くなり、そのうちのかなりのものは、毎年の継続事業となっています。また今年度は、学園創立100周年記念事業にも関わらせて頂きました。

地域・社会への貢献に関しては、大学地域連携事業「健康相談イベント」が始まり、次年度さらに大きく発展することが期待されています。また新たにe-learningシステムにおけるコンテンツ作成、子育て支援の事業も行われました。本願寺新報への月３回の連載も２年を経過しましたが、読者の皆様からご好評を賜っている由で、３年目も継続します。また主に卒業生を対象とした、生涯教育講座も定期的に開催していく予定です。

このように皆様に認めて頂き、各種事業への参加の機会を与えて頂けることは非常に光栄なことで、スタッフ一同の喜びとするところではありますが、専任の常勤教職員を持たない小さい組織ですので、学内外の皆様方のお力添えなくしてはやっていけません。

今後とも一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げて、ご挨拶とさせて頂きます。

平成23年２月１日

京都女子大学栄養クリニック長
田　中　　清